地域みんなで心がけ!!
作業事故!!

農業者の皆様へ

次の注意事項等を守り、十分な安全対策を行ってください。

1．共通事項

(1) 体調管理を万全にし、心身ともに健康な状態で作業を行う。
(2) 服装は作業に適したもので行う。
(3) 運行する道路や圃場の危険箇所を確認する。
(4) 点検・修理はエンジンを止めて行う。
(5) 機械点検用の工具は、作業や機械に適したものを使う。
(6) 運転操作・ブレーキなど停止装置の操作は、確実・慎重に行う。
（圃場を出る際のブレーキペダルの連結確認を徹底）
(7) 機械の点検・整備を徹底する。
(8) 燃料の管理は厳重に行う。
(9) 緊急時の連絡体制を整備する。

2．トラクター

(1) 作業に適した作業機を選択する。
(2) 道路の路肩の強度、穴等に注意して走行する。
(3) 安全フレーム等の安全装備を装着し、シートベルトを着用する。
(4) 作業中、走行中の飛び降り、飛び乗りは行わない。
(5) 駐車する時は駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止する。
(6) 公道を走行する際は、反射材などを取り付け、安全確保に努める。
(7) 作業機装着時は後方の確認を確実に行い、特に、圃場への進入時や曲がる際は十分に注意する。

3．田植機

(1) 遠距離の自走移動を避ける。
(2) 補助苗載台から苗載台へのマットの補充は、走行を停止して行う。

秋田県における農作業死亡事故の発生状況（過去 10 年間）

1．農作業死亡事故の発生件数

過去10年間（平成17～26年）では、県内で68件（年平均6.8件）の死亡事故が発生しています。

2．機種別の発生状況（図－１）

機種別では、乗用トラクターが全体の38％を占めています。
乗用トラクターでは、トラクターの横転や転落による事故が多いですが、公道での他の車両との衝突事故も発生しています。

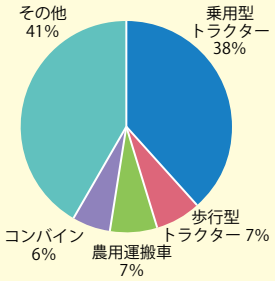
3．年齢別発生状況（図－２）

年齢別では、60歳以上の高齢者が全体の85％を占めています。

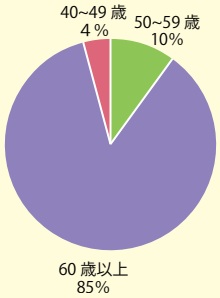
4．場所別発生状況（図－３）

死亡事故の発生場所別では、ほ場が全体の38％で、次いで道路が34％となっています。

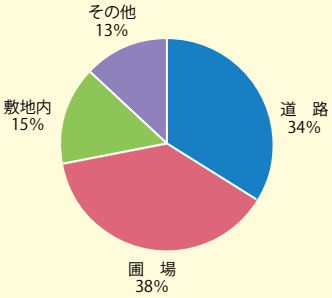
図－１　機種別の発生状況



図－２　年齢別の発生状況



図－３　場所別の発生状況



＊ラウンドの関係で合計が 100 にならない場合がある。